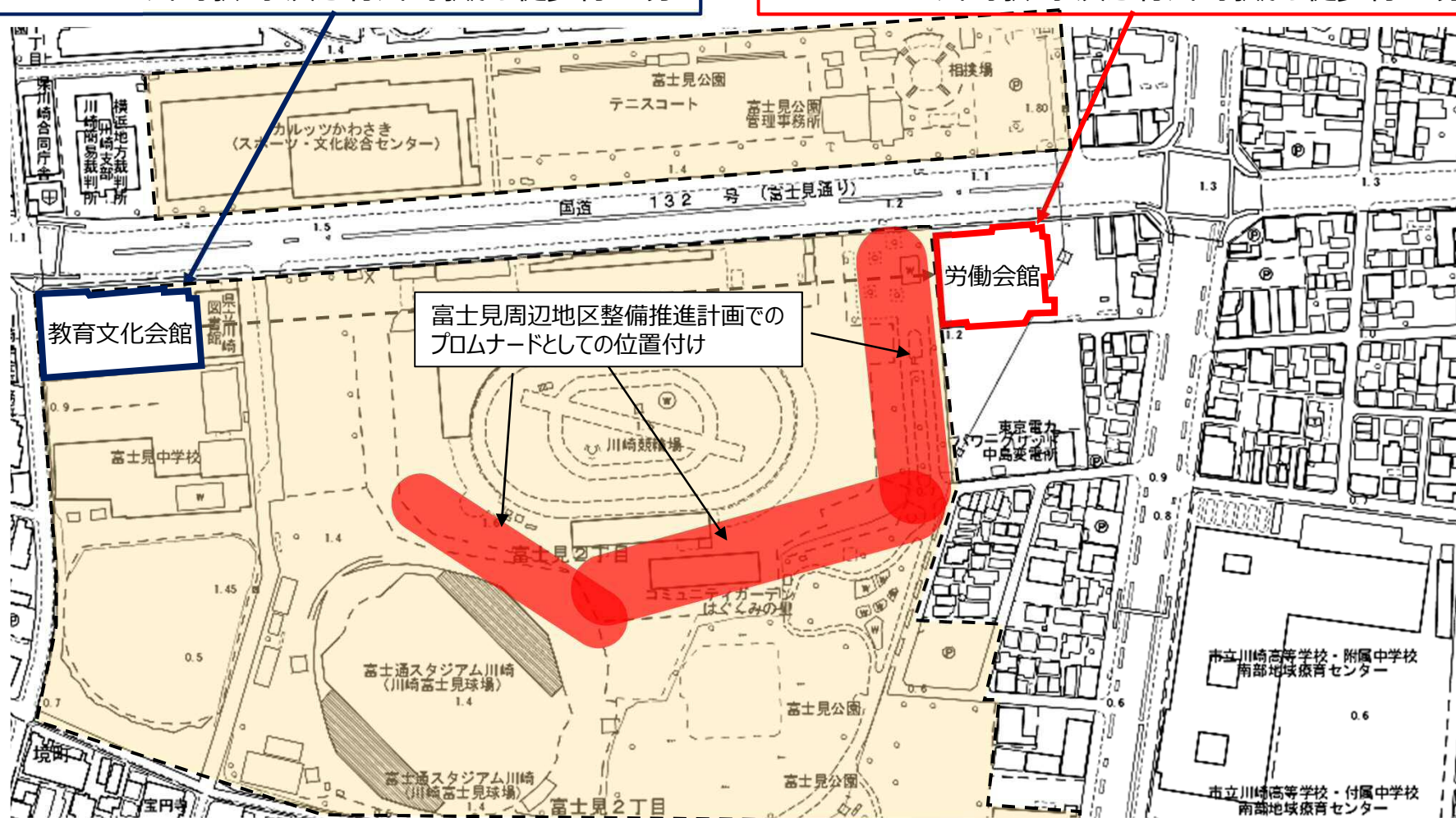


対象施設の位置

富士見周辺地区整備 推進計画の対象範囲

J R川崎駅・京浜急行川崎駅から徒歩約15分

J R川崎駅・京浜急行川崎駅から徒歩約20分



【都市計画基本図を基に作成】

対象施設の概要（労働会館）

○労働会館の設置目的

働く市民や労働組合等が、憩い、語らい、学びあい、健全なる発達を図るとともに、労働者の福利厚生施設を設け、勤労意欲の向上に資することを目的として設置

○諸室・機能等

- ・ホール、会議室、交流室、教養室等を設置しており、企業や労働団体等の総会、講習会、懇親会など、働く市民の交流・連携の拠点として利用
- ・労働組合等は、設置目的から、早期予約などの優先的な利用が可能
- ・労働関係の資料を揃えた「労働資料室」を備える他、「労働学校」等を開催

○管理・運営手法

- ・平成18年度から指定管理者制度を導入
- ・現在は指定管理期間の第3期目（平成28年度からの5年間）で公益財団法人神奈川県労働福祉協会が受託

令和2年度指定管理料：154,838千円

平成30年度利用率：51.1%

（主な内訳 ホール：68.9%、会議室：53.3%、教養室：44.3%）

所在地	川崎区富士見2-5-2	竣工年月	昭和56年8月
高さ	20.00m	階数	地上5階/地下1階
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	延床面積	9,645.37㎡



対象施設の概要（教育文化会館）

○教育文化会館の設置目的

市民の教育及び文化の振興並びに福祉の推進に寄与することを目的とし、川崎区における社会教育及び生涯学習の拠点として設置

○諸室・機能等

- ・市民館としての機能に加え、産業展示場や博物館・美術館の機能を併せ持った産業文化会館として設置された経緯から、他区の市民館とは会議室の数や教養室（音楽室、実習室、視聴覚室等）の設置状況が異なっている。
- ・市民の学習や活動の支援、社会教育及び生涯学習に関する団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域人材資源の活用を図り、市民のまちづくり力の向上に向けた様々な事業を実施

○管理・運営手法

- ・直営（貸館業務、施設及び、備品機材管理業務、保守・点検業務、清掃業務等を除く。）

平成30年度利用率：30.2%（大会議室は61.1%）

所在地	川崎区富士見2-1-3	竣工年月	昭和42年3月
高さ	35.95m	階数	地上6階/地下1階
構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	15,137.85㎡



川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館の再編整備事業 基本構想の概要①

- 「川崎区における市民館機能のあり方」（平成30年3月策定）において、川崎区における市民館の再整備について、労働会館の一部を改修し、同館内に移転することとしました。
- この方針を踏まえ、平成31年3月に「川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に関する基本構想」を策定しました。

【整備理念】 「みんなが気軽に利用しやすい 活動と交流の拠点づくり」

今までよりも多様な人々が様々な目的で施設を利用することを想定し、多くの方が、快適に施設を使えるよう新たな施設の整備を推進します。

整備の視点（5つの視点）

視点1

市民館と労働会館が同一建物内にあるメリットを生かす
→利用者の新たな活動を始めるきっかけづくりに寄与するとともに、利用者相互の新たな交流を促進

視点2

市民が気軽に心地よく利用できる施設とする
→施設全体におけるユニバーサルデザインに配慮するとともに、明るく開放感のある施設を目指す

視点3

限られたスペースを有効に使う
→スペースを有効に使うことで、必要となる諸室の再検討や類似諸室の相互利用、共用施設の活用を推進

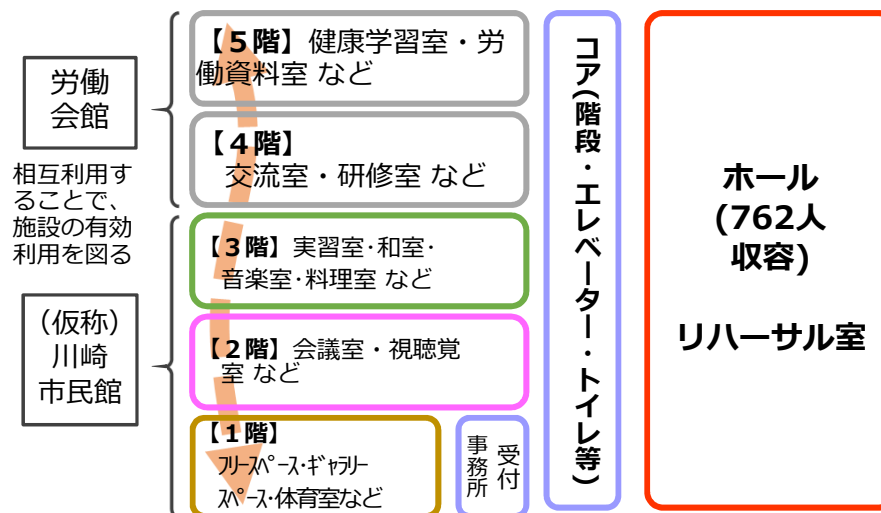
視点4

様々な活動を行いやすくする
→市民や利用者の活動が活性化するように、多様な活動を支える「場」となる取組を推進

視点5

施設をスムーズに運営する
→制度やルールなどは可能な限り統一化するなど、わかりやすく使いやすい施設運営を目指す

フロア構成イメージ（基本構想策定時点）



川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館の再編整備事業 基本構想の概要②

今後の課題（基本構想策定時点）

○安全性能の維持

不特定多数の人が利用する施設であり、今後も非構造部材を含む施設全体の耐震性や火災時の安全対策など、十分な安全性能を有した施設となるよう確認・検討を行います。

○ユニバーサルデザインへの配慮

子どもから高齢者、障害者、外国人、妊婦、乳幼児連れの方など様々な利用者を想定し、室内や廊下における段差の解消、適度な明るさの（調光機能を含む。）照明、サイン計画、トイレ等について、十分な検討を行います。

○設備機器の交換による長寿命化・高効率化の検討

高効率化を目指した設備機器の交換等について検討し、建物の長寿命化やランニングコストの低減を図ります。
空調室等に設置している設備機器の小型化等により、新たな空間が生じる場合には、その有効活用を図ります。

○明るく、利用しやすい施設に向けた内装の改修

多様な用途に利用しやすい内装材や照明器具等への改修を検討します。

○飲食を含む物品販売の検討

飲食の提供や物品の販売は、快適な滞在や様々な活動の支援につながるため、引き続き必要なサービスと考えますが、ニーズや採算性、限られたスペースの有効活用等を踏まえた上で、売店等による物品販売形式を中心としたサービス提供を検討します。

○同一建物に設置されるメリットの活用方策の検討

施設の魅力向上に向けて、（仮称）川崎市民館と労働会館が一つの建物に設置されていることのメリットを生かした施設運営のあり方を検討します。
また、これまでよりも幅広い市民による利用が想定されることから、周辺地域に波及する効果・影響を考えながら、施設の適切な活用について検討します。

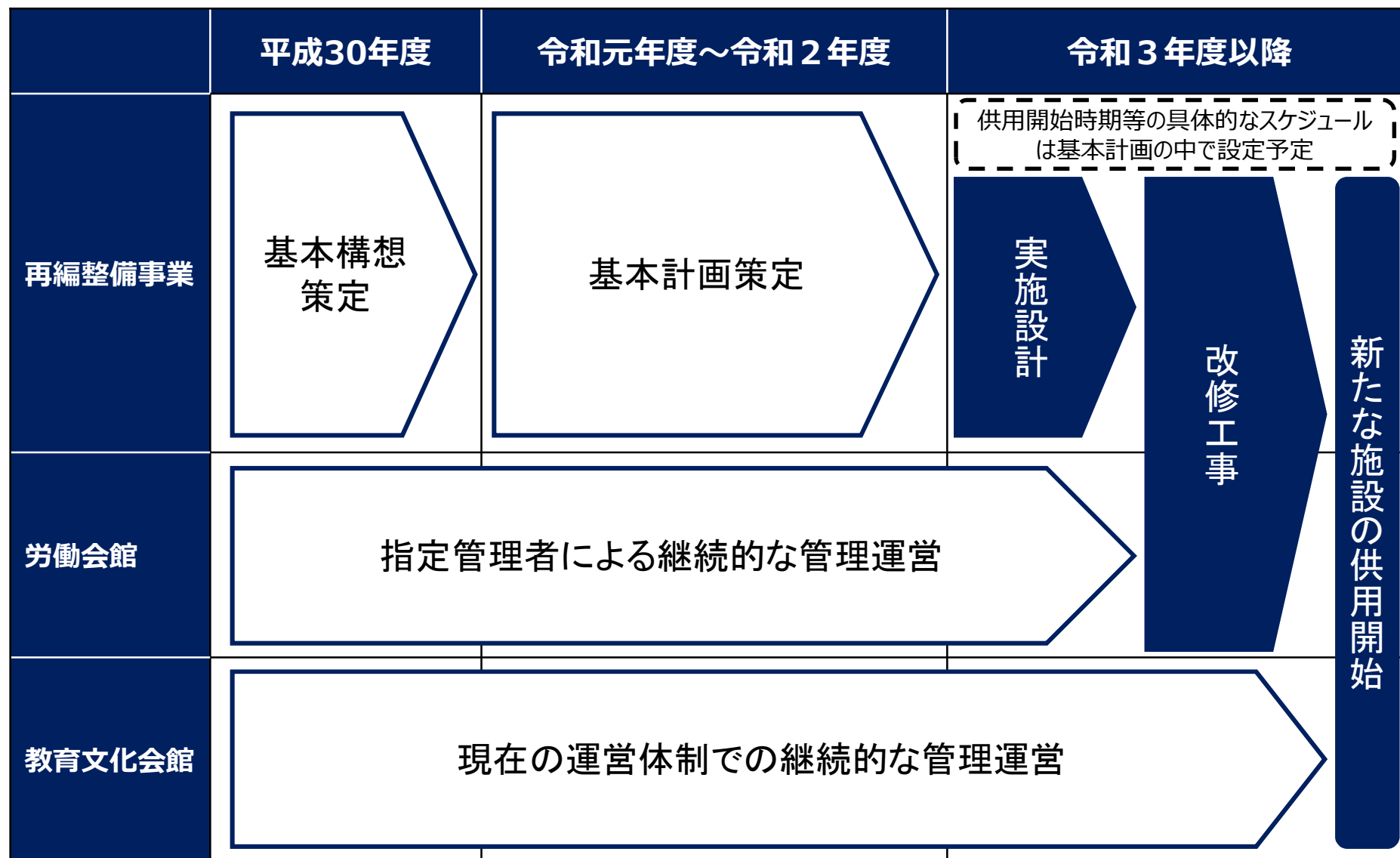
○市民が利用しやすい施設運営の検討

全体として整合性のある利用料等の設定、施設の一体的な管理運営形態、利用時間区分や予約方法等の統一化などを検討します。

○災害時対応機能の検討

災害時は、災害ボランティアの活動調整等のための区センターとしての使用などが想定されており、これらの機能を担うために必要な設備の導入を検討します。

川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館の再編整備事業の想定スケジュール



ご意見・ご提案をお聞きたい事項

本事業は、川崎市労働会館の一部を改修し、市民館機能を労働会館内に移転する計画です。
以下の内容を中心に、ご意見・ご提案をお聞かせください。

- 富士見公園との一体性を持たせた施設整備に向けて
導入機能や諸室仕様、運営方法等への提案・助言について
- プロジェクトの今後の進展における、整備、運営等への民間参画の可能性について
- 本事業の財政負担（L C C）を削減するための提案・助言について

○川崎市経済労働局労働雇用部
連絡先 電話：044-200-2298 E-mail：28roudou@city.kawasaki.jp

○川崎市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習推進課
連絡先 電話：044-200-1981 E-mail：88syogai@city.kawasaki.jp